令和2年1月26日実施

## 入 学 試 験 問 題

(看護学科3年課程)

### 数学I

### ◎指示があるまで開いてはいけません

#### 注 意

1 解答用紙には、受験番号・志望校名が印刷されているので、あなたの解答用紙かどうかを確認すること。

なお、氏名欄、志望校名欄には、氏名、志望校名を漢字で正確に記入すること。

- 2 この問題は、表紙を除いて1ページから14ページ(計算用紙を含む。)まであるので確かめること。
- 3 試験の時間は、10時15分から11時00分までの45分とする。
- 4 解答には、**B又はHBの鉛筆**を使うこと。(シャープペンシルは不可)
- 5 問題は、5肢択一式により出題されている。解答方法は、次のとおりとする。
  - (1) 5 肢択一式問題の正解は、各問題とも 1 つである。解答用紙の所定のマーク欄に、正解の番号を 1 つだけマークすること。 2 つ以上マークされている場合は無得点とする。
  - (2) 解答用紙の〔記入上の注意〕をよく読んでマークすること。

例 〔問1〕日本の首都は次のうちどれか。

① 京都 ② 福岡 ③ 東京 ④ 大阪 ⑤ 神戸

正解は「③ 東京」であるから解答用紙のその問題番号の次にならんでいる

マーク欄 ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を鉛筆で ● のように

マークして ① ② ● ④ ⑤ とすればよい。



(良い) のようにマークする。

(悪い) のようだと機械で読み取れない ことがある。

既にマークした解答を消す場合は、プラスチック消しゴムでよく消すこと。

6 計算を必要とする場合は、問題用紙の余白を利用すること。解答用紙は使わないこと。

# 余白

## 数学I

- [問 1]  $(x+3)(x-2)(x^2-x+6)$  を展開したものは、次のうちのどれか。
  - (1)  $x^4 13x^2 + 36$
- ②  $x^4 13x^2 36$
- $3 \quad x^4 x^2 + 12x + 36$
- $(4) \quad x^4 x^2 + 12x 36$
- (5)  $x^4 x^2 12x 36$
- [問 2] 4x(x-1)-3y(3y-2) を因数分解したものは、次のうちのどれか。

  - ① (2x-3y)(2x+3y+2) ② (2x+3y)(2x-3y-2)

  - ③ (2x-3y)(2x+3y-2) ④ (2x+3y)(2x+3y-2)
  - $\bigcirc$  (2x-3y)(2x-3y+2)
- [問 3]  $\frac{\sqrt{5}}{\sqrt{10} + \sqrt{5}} \frac{\sqrt{5}}{\sqrt{10} \sqrt{5}}$  を計算したものは、次のうちのどれか。
  - ① 2
- ② -2
- ③  $2\sqrt{2}$
- [問 4]  $2 \le \frac{2-3x}{4} \frac{x+2}{3} < 6$  を満たす整数 x の個数は、次のうちのどれか。
  - ① 1個

- ② 2個
- ③ 3個

④ 4個

⑤ 5個

[問 5]  $x - \frac{1}{x} = \sqrt{2} - 1$  のとき、 $x^2 + \frac{1}{x^2}$  の値は次のうちのどれか。 ①  $1+2\sqrt{2}$  ② 3 ③  $5-2\sqrt{2}$ ⑤  $5+2\sqrt{2}$ **4 5** [問 6] a を定数とし、2 次関数  $y = 2x^2 + ax + 2a - 6$ のグラフが点 (1, 8) を通るとき、 このグラフについて正しくいえることは、次のうちのどれか。 ① 点(2, 16)を通る ② 点(-2, 8)を通る ③ x軸と異なる2点で交わる ④ y軸との交点のy座標は3⑤ x軸に接する 〔問 7〕 放物線  $y = -2(x-3)^2 + 6$  を、x 軸方向に  $\mathbf{r}$  、y 軸方向に  $\mathbf{r}$  だけ平行移 動すると、放物線  $y = -2x^2 + 4x + 6$  と一致する。 ア と イ の正しい組合せ は,次のうちのどれか。 ア 1 ① - 2 ② -2 3 ③ -1 -2 ④ 2

⑤ 2 3

- [問8] a を定数とし、2次関数  $y = x^2 4x + a(-1 \le x \le 4)$  の最小値が-1であるとき、 最大値は次のうちのどれか。
  - ① 4

② 5

③ 6

4 7

- **5** 8
- [問 9] すべての実数 x に対して、2 次不等式  $x^2 2ax + 5a 6 > 0$  が成り立つとき、 定数なのとりうる値の範囲は、次のうちのどれか。

  - ① -3 < a < 2 ② -2 < a < 3 ③ 2 < a < 3

- 4 a < -2, 3 < a 5 a < -3, 2 < a
- [問 10] 2次方程式 $x^2 + kx + 4k^2 1 = 0$  (k は定数) が正の解と負の解を 1 つずつもつ とき、定数kのとりうる値の範囲は、次のうちのどれか。
  - ①  $k < -\frac{1}{2}, \frac{1}{2} < k$
- $2 k \leq -\frac{\sqrt{2}}{2}, \quad \frac{\sqrt{2}}{2} \leq k$
- $3 -\frac{1}{2} \leq k \leq \frac{1}{2}$
- $4 \quad -\frac{1}{2} < k < \frac{1}{2}$
- [問 11]  $\sin 36^{\circ}\cos 54^{\circ} + \sin 54^{\circ}\cos 36^{\circ} + \tan 36^{\circ}\tan 54^{\circ}$  の値は、次のうちのどれか。
  - ① 0

② 1

**4 3** 

(5) **4** 

- 〔問 12〕  $0^{\circ} \le \theta \le 180^{\circ}$  とする。 $\cos \theta = -\frac{5}{13}$  のとき, $\sin(180^{\circ} \theta)$  の値は次のうちのど れか。
  - ①  $-\frac{5}{13}$

- $2 \frac{5}{13}$   $3 \frac{12}{13}$
- $\frac{12}{13}$
- $\boxed{5} -\frac{12}{5}$
- [問 13]  $0^{\circ} \le \theta \le 90^{\circ}$  とする。  $\sin \theta \cos \theta = \frac{2}{3}$  のとき,  $\sin \theta + \cos \theta$  の値は次のうち のどれか。
- $3 \frac{4}{3}$

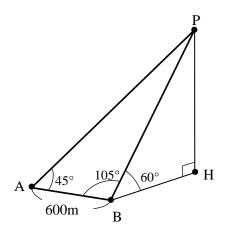
- (4)  $\frac{\sqrt{14}}{3}$
- $\triangle$ ABC において、a=4、b=5、c=6のとき、外接円の半径は次のうちのど れか。
- ②  $\frac{8}{5}$
- $3 \frac{8}{5}\sqrt{7}$

- (4)  $8\sqrt{7}$
- $\bigcirc \frac{16}{7}\sqrt{7}$
- [問 15] 面積が $3\sqrt{3}$  の $\triangle$ ABC において、c=4 、 $A=60^\circ$  のとき、a の値は次のうちの どれか。
  - ①  $2\sqrt{3}$
- ②  $\sqrt{13}$
- $\bigcirc$   $\sqrt{14}$

④  $3\sqrt{2}$ 

⑤  $\sqrt{19}$ 

2 地点 A と B から山の頂上 P までを測ると、 $\angle PAB = 45^{\circ}$ 、 $\angle PBA = 105^{\circ}$ で あった。また、B から P を見上げたときの角度は、 $\angle PBH = 60^{\circ}$  であった。2 地点 どれか。



- ①  $300\sqrt{3}$  m
- ②  $300\sqrt{6}$  m
- ③  $600\sqrt{2}$  m

- 4  $600\sqrt{3}$  m
- ⑤  $600\sqrt{6}$  m

 $\mathbf{U} = \left\{ \left. x \mid \mathbf{0} < x \right., \ x$  は実数  $\left. \right\}$  を全体集合とする。 $\mathbf{U}$  の部分集合  $\mathbf{A}$ ,  $\mathbf{B}$  を  $A = \{ x \mid 2 < x \le 7 \}, B = \{ x \mid 4 < x \le 9 \}$ とするとき、 $\overline{A} \cap \overline{B}$  は次のうち のどれか。

- ①  $\{x \mid 0 < x < 2, 9 < x\}$  ②  $\{x \mid 0 < x \le 2, 9 \le x\}$

〔問 18〕	命題	$\lceil a \rceil$	> 0なら	が $\sqrt{a^2}$	=a	である	る」	の対像	禺は	ア	であり	,	命題	ア	<i>(</i> )
	真偽は	1	である	。ア	ح[	イ	<b>の</b> 〕	Eιν	い組合	せは	., 次の	うせ	ちのと	゚゙れか	, ,

イ

- ①  $a \le 0$  ならば $\sqrt{a^2} \ne a$  である 真
- ②  $\sqrt{a^2} = a$  ならば $a \le 0$  である 偽
- ③  $\sqrt{a^2} \neq a$  ならばa > 0 である 真
- ④  $\sqrt{a^2} \neq a$  ならばa < 0 である 偽
- ⑤  $\sqrt{a^2} \neq a$  ならば $a \le 0$  である 真
- [問 19] 下のように2つのデータA、Bがある。データAは9個、データBは10個である。

A: 6, 8, 12, 16, 26, 32, 48, 62, 80

B: 6, 8, 12, 16, 26, 32, 48, 62, 80, 86

データ A, B の四分位範囲を比較したとき, その差は次のうちのどれか。

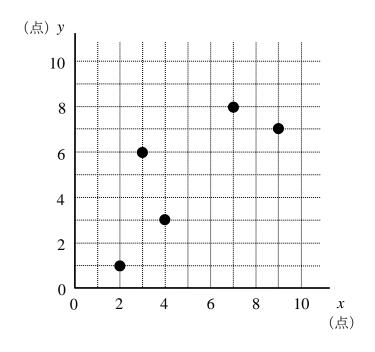
① 4

- ② 4.5
- 3 5

**4** 5.5

⑤ 6

[問 20] 下の図は、5人が受けた10点満点の2科目のテストx, yの得点結果を散布図に表したものである。この2科目のテストの得点の相関係数は次のうちのどれか。



- ① 0.34
- ② 0.76
- ③ 1.26

- (4) -0.34
- ⑤ -0.76

# 余 白

